

## i P a d 活用票

キーワード	国語、家庭での外出、s a f a r i ( i P a d 標準搭載)、言語化、文章化 インターネット、視覚情報、想起		
高等部 1 年	領 域 教 科	国語	
単 元 名	書いてみよう 話してみよう		
<b>使用したアプリ</b> ・ s a f a r i ( i P a d 標準搭載)			
<b>どのように活用したか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な会話はできるが、過去の出来事を視角情報がないと話すことが困難な生徒が対象である。</li> <li>・冬休みの一行日記に、「牛井チェーン店に行きました。」と記述があった。</li> <li>・インターネットで牛井チェーン店のメニュー表を提示し、何を食べたか確認し、話したり、書いたりできるようにする。</li> </ul>			
<b>児童生徒の様子はどのようなだったか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛井チェーン店のHPを提示し、「ここに行きましたか？」と尋ねると、「行きました。」と答え、会話が成立した。</li> <li>・HP内のメニュー表を提示し、「何を食べましたか？」と尋ねると、「牛井」を指さし「ぎゅうどん」と答え、会話が成立した。</li> <li>・「次に行った時は、何を食べたいですか？」と聞くと、食べたいメニューを指さし、答えた。</li> <li>・以上のことを、教師が文章にして提示することにより、冬休みに牛井チェーン店に行った際の一連の出来事を話したり、文章にしたりすることができた。</li> </ul>			